



## 始動！「西高図書館ワークショップ」

～地域に根ざした開かれた学校づくり～ 県立西会津高等学校



左の写真は、6月12日に西会津高等学校が開催した「西高図書館ワークショップ」手作り&布マスク製作会の様子です。

これは西会津高等学校図書室を会場に、放課後の時間を活用し、毎回様々なテーマを設定して行う体験型講座です。この日は、13名の生徒が参加し、地域の方々と交流しながら、楽しく活動に取り組みました。

「西高図書館ワークショップ」のねらいと活動内容は、次のとおりです。

### ■■■ 活動のねらい ■■■

生徒の「なんでもやってみよう！」という気持ちを受け止める場をつくり、本校のスクールミッション「西高PC（にしこうピーシー）」（裏面「2020 西会津高等学校 学校経営・運営ビジョン」参照）のうちの「課題解決力」や「協働力」を育み、地域協働推進校として、学校を開かれた場とする。

### ■■■ 主な活動内容 ■■■ ※今年度は下記の内容で10回のワークショップを予定しています。

- ・手作りしおり&布マスク製作会
- ・図書POP製作会
- ・ブックカバー製作会
- ・勉強お助け会（定期テスト前の勉強会。互いに教え合ったり、教員が飛び入りで教えたりする。）
- ・ジブリ飯を作る会（物語の中に出てきた食べ物を現実化して味わう。保護者の参加も募る。）
- ・図書館クリスマスディスプレイ製作会



ワークショップ当日は、飛び入り参加した西会津国際芸術村滞在アーティストの方々と交流も楽しんだようです！



## この実践から学ぶポイント！

このワークショップは今年度から始まった取組ですが、生徒に大変好評とのこと。それぞれの生徒が自分の興味・関心に応じて気軽に参加し、活動できることがその理由の一つと思われる。

生徒と交流をもった地域の方も「高校生の発想が面白い」、「生徒が積極的で驚いた」などの声を生徒にかけてくださっており、生徒のやりがいの高まりにつながっています。

生徒にとっての学校が、受動的な学びの場ではなく「自分がやりたいことをやってもいいんだ」と思える場所に変化し始めているそうです。このワークショップが、生徒が自ら動き始めるきっかけとなっています。西高コーディネーターの働きかけにより、地域の方々が学校を訪れ、ワークショップを通して生徒との交流を図るなど、地域に開かれた学校づくりにつながっている点も見逃せないポイントです！

## 教育理念

西会津高校で学んだことに誇りと自信を持って人生を歩み、夢の実現に向けて努力する人間を育成するとともに、会津地域と西会津町に立脚した高等学校として、地域に根ざした教育活動をおこなう高校づくりを実践する。



## 西高PC

西高PCとは、西会津高校が生徒、保護者、地域に誓う、本校教育活動で育みたい資質・能力の総称です。PCは公的な約束を意味する Public Commitment の頭文字であり、さらに教育活動計画の評価の意味もあります。

### 自己肯定力

{ 自己の力を客観的に把握し、その力を発揮して前向きに取り組む力を身につける }

### 思考力

{ 基礎知識を身につけ、さまざまな事象に対して、「What?」「Why?」「How?」を考える力を身につける }

### 課題解決力

{ 課題を発見し、分析し、解決の道筋を作り出す力を身につける }

### 継続力

{ ものごとの実現のために、嫌なことや苦しいことを避けず、あきらめずに成し遂げる力を身につける }

### 傾聴力

{ 他者を尊重し、その考えを虚心坦懐に聞くことができる力を身につける }

### 発信力

{ 自己の認識や理解を他者に的確に伝える力を身につける }

### 協働力

{ 他者とともに課題を共有し、意見を交換し合いながら連携して行動できる力を身につける }

## 校訓

不撓不屈 困難にあってもひるまず、くじけないこと

質実剛健 飾り気なくまじめで、たくましく機やかなこと

7つの力は、**上4つが個人力**、**下3つが社会力**のカテゴリーに区分されます。

## 西高魅力化プロジェクト～西会津高校の魅力をさらにアップするための重点目標と実践事項～

### 西高PCの実現

#### ①西高PCによる授業と評価の改善

・西高PCに掲げた7つの力を生徒に身につけさせる授業・学校行事を展開し、生徒が自己の取り組みを省みることができる評価を実践する。

#### ②西高PCによる教育活動のチェック

・西高PCに掲げた7つの力がついたらどうかを基準にして、教育活動のチェックを行うとともに、生徒による授業評価のためのアンケート調査を、各授業において年2回以上実施する。

#### ③ICTを活用した教育サポートサービスの活用

・全学年で web テストやポートフォリオ機能を活用し、生徒の学習活動の充実と個々のデータの蓄積に努め、その個人にあった進路指導に活用する。

#### ①学校運営協議会の開催

・年度内に3回開催し、学校の教育活動のチェックと協議会からの提言をうける。それにより、地域協働推進校として生徒が自信と自律を得られる教育を提供する。

#### ②地域の資源を活かした教育活動の実践

・地域連携担当教職員と西高コーディネーターの連携を密にして活動し、授業や学校行事に人材や環境などの地域資源を取り入れ、西会津高校ならではの教育活動を実践する。

#### ③外部機関と連携した“チーム学校”の展開

・家庭はもとより、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)一、さらに自治体や各種外部機関と連携し、生徒のためのチーム学校を実現する。

### CS(コミュニティ・スクール)の展開